

保土ヶ谷区自立支援協議会 区精神 net 議事録	
日 時	R4 年 1 0 月 1 1 日 (火) 16:00~17:00
開催場所	集合開催 ゆめ 2 階、オンライン zoom
出席者	出席者 医療機関 3 名、グループホーム 1 名、保護者会 1 名、当事者 1 名、通所事業所 4 名、居宅サービス 1 名、ケアプラザ 1 名、社会福祉協議会 1 名、区役所 2 名、生活支援センター 2 名、
開催形態	公開 (傍聴人: 名) <u>非公開</u>
議題	内容 ① 情報共有 【アウトリーチ事業】 ・新規相談ケースあり。 ・現在は生活支援センターが事務局として動いている。 ・対応が 1 年と長引いているケースもあるため、今後、検討をしていく。 【ほどほどの会】 ・アセスメントシートの検討は継続中。 ・病院にも協力をしていただき、ケースによってはアセスメントシートを活用、そのうえで振り返るようにしている。 【ほどほど通信】 ・完成し、配布をしているが、配布後の具体的な効果や動きが見えない。 ② 各グループで話し合い ○グループ① 【9 月の感想・意見交換】 ・言葉、率直な気持ちが伝わってよかった ・いろいろな病気を抱え、「回復」という当事者の言葉の重みを強く感じた。 ・オンラインでもできることを常に考えて、取り組んでいるのがすごい。 ・発信、表現 いろいろな人の意見を入れていく。たくさんの団体がありすぎることでなかなか意見がまとまらない、少ないと内輪の話になってしまう。 ・当事者部会で正当なルートで自分たちの意見を届けることができる、当事者の斬新な発想や新たなつながり方、対面が苦手な人が多いので、スマホ、PC とか引きこもっている人がつながる。外にできるきっかけ。 共に元気になるような活動であるとよい。 ・自分にとっても同じ体験をしている面、親近感がある。「あるある」話でもある。困っている人にすぐにたどり着ける、支援を届けることができる、シームレスな取り組みであるといい。

・当事者が参加できる元気になる活動があればいい。

【情報共有にて聞いた内容について意見交換】

○グループ②

【9月の感想・意見交換】

・講演してくれた当事者さんの福祉や支援につながるまで10年くらい時間がかかっている。もっと早くできたらよかったのに。

・就労支援センターとか就労に関する相談窓口もつかえることができたらよかったかもしれない。

・自分がそうってしまったときにどこに相談したらいいのか、障害福祉のあんないを見たとしてもわからないかもしれない。

【情報共有にて聞いた内容について意見交換】

・初めて参加する方に対して各活動について再度紹介

○グループ③

【9月の感想・意見交換】

・病気になったことだけでも大変なことなのに周囲に認められないことも辛い。

・周囲には支援者だけでなく、その環境も大切

・現在、生活支援センターに通えていないとのことであるが、今はどんなつながりがあるか

○グループ④

【9月の感想・意見交換】

・就労系の事業所の支援を働いているときにも使えると知らない方もいる。今までは自宅から出られなかった方も利用している。

【情報共有にて聞いた内容について意見交換】

・ケアプラザではアウトリーチの必要性を感じられる方が多々いる。7040 ケースや子どもが実は精神疾患かもしれないという世帯は多い。

・入院中から就労系の事業所には退院後の通所先として相談が来ることが多い、また入院中でも就労Bを使われる人もいる。

・入院中の患者に事業所のことを知ってもらうのは良いことであるし、病院でのアセスメントを知れるのはありがたい。

③ 最後に講演してくれた当事者さんより

・自分の味方がたくさんいること、自分の思いを話すことができたのは良かった。しかし、支援にたどりつくまでが大変で、同じ境遇の方がたどり着くことができたらしいと思う。

次回

R4年11月8日(火) 16:00-17:30 場所:未定